

タイトル・ページ

こんにちはみなさん。私はジョンです。どうぞよろしく申し上げます。今日は、歴史を通して天皇の役割について話したいと思います。

スライド1 (アウトライン)

歴史を通して、天皇の役割は何度も変わってきました。今日は、天皇の起源、天皇の力、そして現代の天皇の役割について話します。

スライド2 (バックグラウンド)

まずは、日本の歴史的記録の中で最も古くなっているのは日本書紀と古事記です。古事記は712年頃に作られた最も古い記録です。日本書紀は720年頃に作られたもので、古事記よりも詳細です。彼らは両方とも8世紀に書かれました。彼らは世界の創造について記述し、8世紀までの天皇の記録を持っています。

スライド3 (起源)

古事記と日本書紀によれば、天皇は天照皇大神という太陽の女神の子孫だと書かれています。日本書紀によれば、最初の天皇は神武天皇でした。紀元前660年に日本を創設しました。現代の歴史家は、3世紀以前の天皇は伝説だと言っています。

スライド4 (力)

平安時代、天皇は主権を持っていた。平安時代の終わりまで、天皇は政府を支配しました。貴族の一族で娘を天皇に結婚させて権力を得ようとした者もいました。有名な一族は藤原氏でした。政府が軍事政権になった後、天皇は政権を失いました。天皇は依然として尊敬され、将軍を任命する責任を担っていました。しかし、幕府は1867年に解散された。1868年、天皇は政府と軍の完全な支配を受けました。第二次世界大戦後、天皇は彼らの神性を取り除かなければならず、軍と政府を支配する力を失いました。

スライド5 (現在)

現代では、天皇の役割は重要な儀式を執り行い、外交の一部に参加する事に限られています。また、天皇は首相と最高裁判所の最高裁判事を任命する役目を持っていますが、基本的に形だけです。日本の憲法によると、天皇は「国家のシンボルであり、国民の団結の象徴」であるが、政府内には権限がありません。現時点では、男性のみが天皇になることができますが、男性が存在しない場合、女性が天皇になることを認めた方がいいという議論があります。

スライド6 (結論)

古代の天皇は天照皇大神という神の子孫であると信じられていました。歴史を通して、天皇の権力は変動しています。現代では天皇は政治的にまったく権限を持っていませんが、日本にとっては重要な人物です。日本に対する国家統一の象徴です。